

◆講義③〔図書館の経営戦略とイノベーション〕への質問◆

質問 1

図書館等の施設サービスは、設置及びその周辺地域の住民の利用が多くなります。「O o d i」の機能は、日本では、図書館と、いわゆる文化ホールの施設のホール機能と創造活動支援機能にあたると思います。日本では、この2施設が分散設置されている場合も多くあります。2施設分散設置の場合、2カ所の地域の住民が、種類は異なるものの、施設サービスを利用しやすい状況となります。「O o d i」のような1カ所設置の場合、その1カ所以外の住民は施設サービスを利用しづらく、施設サービスの利用に地域的な偏在が生じます。公共施設が税金で設置運営されている以上、「地域内に、できるだけ遍く施設サービスを提供する」という考え方も必要だと思いますが、「O o d i」設置の際に、この「施設サービスの偏在」については、どのような議論がなされたのでしょうか。ご教授ください。

回答 ご質問の方の前提として、北欧で Oodi のような複合型施設が建設される際に、日本の文脈と同じように、周辺の関連施設（例えば図書館や文化ホールなど）がすべて統合されてしまう、という状況が想定されているように感じました。しかし、まず確認していただきたいのは、このような前提は必ずしも北欧における図書館の設置（ここでは Oodi の設置）に際して当てはまるものではないということです。実際には、Oodi のような施設が新設された場合でも、周辺の既存施設がそのまま存続し、それぞれ独自に機能を果たし続けたり、その施設がさらに複合化したりする事例が多くみられます（例えば Oodi が開館しても、従来の中央館は依然として中央館として役割を果たしています）。つまり、関連施設がすべて統合されるのではなく、各施設が役割を保ちつつ進化し、住民に多様なサービスを提供し続けていることがわかります。